

髪や頭皮を「守る」ため

高濃度炭酸泉

を使用します

【炭酸泉とは？】

日本の温泉法では、お湯 1 リットルに炭酸ガスが 0.25g 以上 (250ppm) 溶けたものが炭酸泉と定義されており、その中でも 1000ppm 以上のものを高濃度炭酸泉といいます。

for Season hair

頭皮・髪の毛の汚れを
きれいに落とします

炭酸の気泡で、毛穴に詰まった皮脂・
汚れを浮かして本来の美髪をつくり
ます

カラー・パーマ後の髪に
不要なものは残しません

弱酸性の炭酸が、カラーやパーマの
残留アルカリを除去し、頭皮や髪の毛
のダメージを防ぎます

頭皮の血行が良く
なります

頭皮から炭酸ガスを吸収することで、
毛母細胞の血行を促し、健康な髪の土
台をつくります

薬剤の影響とは!?

高濃度炭酸泉は弱酸性です。髪にいちばん良いコンディションの状態といえます。美容室ではカラー・パーマ・ストレートなどの時に薬剤を使い施術します。この薬剤が悪い影響を及ぼします。例えば髪のパサつき、ツヤの減少、老化など。頭皮で言えばフケの原因、かゆみ、髪をつくる場所へのダメージなど、薬剤によって髪や頭皮が弱酸性からアルカリ性に寄っていきます。薬剤によるダメージの元です!!

高濃度炭酸泉の重要性とは!?

まず大切なのは、髪や頭皮に付着した薬剤を「除去」し、弱酸性に戻すことです。お湯やシャンプーでは除去することができません!!炭酸泉で除去することで髪や頭皮の負担を減らし、トラブルになる原因を無くすことが重要です。

いつどのようにするの?

for Season hair では薬剤を使ったときにはシャンプー台にて高濃度炭酸泉のお湯でお流しします。プラス料金はかかりません。

では薬剤は悪いモノ?ヘアデザインに重要な薬剤!!

やっぱり良いモノではなく、悪いモノといえるでしょう。でもこの薬剤があることでヘアデザインの幅を広げてくれて、悩みを解決して素敵な自分になれるチャンスを与えてくれます!!美容師としては無くてはならないモノになっております。使う側が悪いモノと認識して使っていることが大切で、安全面やダメージについて考えながらヘアスタイルをつくるのが私たちの役割です。

